

受講料
無料

みんなで鶴亀の謡をうたってみよう!

令和8年度

いちからはじめる

うたい

お謡教室



能のセリフや、物語の情景をうたうコーラスのことを謡(うたい)と言います。
謡には五線譜のような楽譜はなく、節と呼ばれる記号でメロディが作られます。
この教室では、宝生流の能楽師が謡をいちから丁寧に教えてくれます。
いしかわで長らく愛されてきた加賀宝生の謡の魅力をぜひ感じてみてください♪

つるかめ
履修曲 鶴亀

わたなべ しげ と
講師 渡邊 茂人 先生

実施日 6/13[⊕]・27[⊕] 最終回はお稽古の総まとめとして
能舞台で謡ってみましょう♪
7/11[⊕]・18[⊕]・25[⊕](全5回)
時間 いずれも10:00~12:00
会場 石川県立能楽堂本館 第二舞台

対象者 謡をはじめて習う方(高校生以上)

定員 10名程度

※謡を習ったことのある方は秋に開催する謡曲教室の受講をお勧めします

お申込みについて

5月27日(水)締切 ※定員に達し次第締め切ります

メール・郵送・FAXのいずれかで

- ① 氏名(ふりがな)
- ② 郵便番号・住所
- ③ 電話番号
- ④ 謡の経験の有無

以上すべてを明記のうえ、お申込みください。
裏面に申込用紙があります。
来館または電話でもお申込みいただけます。

この教室で学べること

- ・能について
- ・能の台本「謡本」について
- ・謡のメロディを表す「節」について
- ・謡う時の姿勢や声の出し方
- ・履修曲「鶴亀」のあらすじや場面の説明

会場・お問合せ・お申込み

石川県立能楽堂 (月曜日休館)

〒920-0935 金沢市石引4丁目18番3号

TEL・FAX:076-264-2598

E-mail:noh@pref.ishikawa.lg.jp

<https://noh-theater.jp/>



「鶴亀」のあらすじ



唐の宮殿で、新年を迎えたお祝いの儀式が執り行われます。不老門に現れた皇帝が、初春の日の輝きをご覧になると、大臣の知らせを受けて集まった役人や貴族たちから、皇帝を賛美する声が始まります。その後、毎年、嘉例で鶴と亀が舞を舞い、皇帝の長寿を祝うと皇帝も喜び、自らも立って舞います。



渡邊 茂人(シテ方宝生流)

1972年生まれ。石川県金沢市出身。十八代宗家宝生英雄、十九代宗家宝生英照に師事。1980年「三井寺」子方にて初舞台、1997年「金札」にて初シテ。これまでに「石橋」「道成寺」「乱」「翁」を抜く。重要無形文化財総合認定保持者。「荀宝会」を主宰。

★申込方法(5月27日(水)申込締切)

電話・FAX・メール・郵送・来館のいずれかで、①～④を明記のうえお申込みください。

①氏名(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号④謡の経験の有無

いちからはじめるお謡教室 参加申込書

ふりがな 氏名	
郵便番号	
住所	
電話番号	
謡の経験の有無	あり ・ なし
備考	

※謡を習ったことのある方もお申込みいただけますが、謡をはじめて習う方を優先して受付いたします。あらかじめご了承ください。
なお、定員に余裕がある場合に限り、締切日以降に担当者よりご連絡させていただきます。

お申込み、お問い合わせ先

石川県立能楽堂

TEL・FAX 076-264-2598
〒920-0935 金沢市石引4-18-3
Mail noh@pref.ishikawa.lg.jp